

「ロイコレ」の“カッコやさしい”ニューウェッジ!

「魔法の溝」がグリーン周りで 手をスムーズに動かす

ロイヤルコレクションから
新しく「BBウェッジ」が登場した。
このウェッジの最大の特徴がソールの
大きな溝なのだが、
なんとイップスに強いという。



抜けの良さを
生み出す
最大高さ
6mm
の溝!



グリーン周りの深いラフからでも抜けが良く距離感が出しやすい。



リーディングエッジのすぐ後ろにあるのがバックバウンスソール。



試打／内海大祐

アマチュアの気持ちになったわかりやすい理論が好評。クラブへの造詣も深い。

ミスがミスにならず、アプローチで悪い記憶が残らないため、あのイップスさえも遠のいていく。きっと、スコアメイクの要になってくれるに違いない。

どうしても寄せたいという場面で、起こってしまったザックリやトップ。苦笑いでやり過ごしたものの、ミスの記憶は脳に蓄積され「また、やってしまうかもしれない」という恐怖感から手が動きにくい「イップス」という症状を引き起こしてしまう。「イップス」とまではいかないが、上手く始動できない人も少なくはないだろう。

絶対にザックリしないソール形状を見つめる！ ウェッジのスペシャリストとして有名なグラインドスタジオ・都丸和寛氏が、5年前から開発していた溝のあるソールをベースに完成させたのがこの「BBウェッジ」だ。

「グリーン周りの芝目が入り組んだような難しいライでも、リーディングエッジがスツと入るのに突き刺さらずに滑ってくれる。相当鋭角に打っていても抜けてくれますね」とは試打をした内海大祐プロ。ソールは、まずフェース側の細い部分が地面にスツと入り、次にうしろ側が抵抗となり地面に深く刺さらない。

「構えるとアスリートモデルと遜色ないオーソドックスな形状、それなのに打ってみるとやさしい。ミスと思ってもミスにならない。いい意味で何も考えずにアプローチできますよ」(内海プロ)

イップスを払拭する
ソールの溝の効果

溝の効果でミスにならない

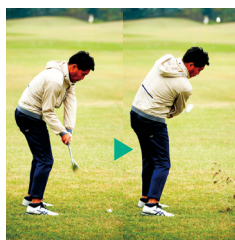
いくらやさしいとはいえ、チッパーなどの「私はアプローチが苦手です!」と宣言しているようなモデルは使いたくない、というゴルファー心理に寄り添ったこのモデル。アドレスしてみるとアスリートモデルと遜色ないオーソドックスなウェッジ形状、それなのに打ってみるとやさしい、ミスかと思って打ったショットがミスにならない。

その秘密はソール形状。リーディングエッジ側に施された大きく、深い溝が驚くべき成果を生み出してくれる。



ロイヤルコレクション BBウェッジ

- ヘッド素材・製法／軟鉄鍛造
 - ロフト角(バウンス角)／46(8)、48(8)、50(9)、52(9)、54(9)、56(12)、58(12)、60(12)
 - シャフト／N.S.PRO 950GH neo(S)、ダイナミックゴールド S200
 - 価格／2万8600円(N.S.PRO 950GH neo)、2万9700円(ダイナミックゴールド)
- ※IPブラック仕上げ(カスタム対応)



フルショットだって
スツと振りやすい

アプローチだけではなく、フルショットでも抜けの良さは秀逸。その効果で距離が狂いにくく、ポイントを狙いやすい。



順目、逆目、深いラフ
どこでも抜ける

フェアウェイからはもちろん、順目のラフ、逆目のラフ、どこからでも突っかかることなくソールが滑ってくれます。



考え抜かれた
ソールと溝

ほどよいバウンスの抜けのいいソールに大きめの溝。構造としてはシンプルですが驚くほどの効果でザックリしません。